

## ジンバブエ経済（関連報道とりまとめ：2月16日～28日）

- 1 フィリップ・モリス社がジンバブエのたばこ市場再参入を検討
  - 2 ジンバブエ商工会議所（ZNCC）が政策金利の段階的引き下げを提案
  - 3 カンバムラ鉱山・鉱山開発大臣がマイニング・インダバに出席
  - 4 政府がアスファルト工場を設立
  - 5 米ファイザー社と非営利ベースでの医薬品供給に関する協定締結
  - 6 エジプトがバトカ渓谷水力発電プロジェクトへの投資を検討
  - 7 政府がすべての未加工鉱物及びリチウム濃縮物の輸出を一時停止
  - 8 ZiG 建てインフレ率が 3.8%へ低下
  - 9 ジンバブエ中央銀行（RBZ）は 35%の政策金利を維持
- 

### 1 フィリップ・モリス社がジンバブエのたばこ市場再参入を検討

世界最大手のたばこ企業フィリップ・モリス・インターナショナル（PMI）が、約 20 年ぶりにジンバブエ市場への再参入を検討している。1 月の世界経済フォーラム（ダボス会議）では、ムルウィラ外務・国際貿易大臣と PMI の面談が行われた。2 月中に実施予定の協議では、たばこ製品の加工・製造・流通に関する国際規制への対応が主要議題となる。PMI は 1981 年にアパルトヘイト制裁の影響で南部アフリカ事業を撤退していた。（16 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面）

（リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/worlds-largest-tobacco-giant-eyes-return-to-zim-tobacco-industry1/>）

### 2 ジンバブエ商工会議所（ZNCC）が政策金利の段階的引き下げを提案

（1）ジンバブエ商工会議所（ZNCC）は、今月末に発表が予定される 2026 年金融政策声明に関し、インフレ率の大幅改善を受け、段階的な金利緩和が必要との見解を示した。ZNCC は、成長促進には低金利が不可欠で、利下げはインフレ動向に連動させるべきと主張した。（16 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面）

（リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/znc-hails-monetary-and-fiscal-discipline-urges-gradual-easing/>）

（2）国内企業は、金利 45%超の ZiG 融資や同 10～16%の米ドル融資といった高金利・短期資金、そして深刻な流動性制約に苦しんでいる。債券市場や株式市場は低調で、企業は内部留保や不動産売却に頼るケースが増加している。銀行協会は「生産部門への融資優先」を強調し、実際に融資の 7 割超が製造業、農業、鉱業に向かうが、これらも短期が中心で、産業界が求める 5～10 年の長期資金は乏しい。（21 日付サンデーメール紙ビジネス 1 面）

（リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/high-interest-rates-tight-liquidity-choke-industry/>）

### 3 カンバムラ鉱山・鉱山開発大臣がマイニング・インダバに出席

9～12日にケープタウンで開催された鉱業会議「アフリカ・マイニング・インダバ (African Mining Indaba)」に、カンバムラ鉱山・鉱山開発大臣やグワマタンガ財務省事務次官、ジンバブエ中央銀行、国内大手銀行 (CBZ、FBC)、ムタパ投資ファンドが参加した。同会議では、リチウムやプラチナ、金、クロムなどの重要鉱物のグローバル供給網構築、付加価値化、責任ある鉱業推進、地域社会参画などが重視され、ジンバブエもバリューチェーン強化や金融部門との連携、国内関連制度の運用強化の必要性を共有した。(20日付インディペンデント紙9面)

(リンク：<https://www.newsday.co.zw/theindependent/business-digest/article/200051816/zim-at-mining-indaba-2026-hunting-in-packs>)

#### 4 政府がアスファルト工場を設立

23日、政府は、ハラレ郊外に新設したアスファルト製造プラントの稼働を開始した。これにより高額な民生品への依存から脱却し、地方自治体は安価なタールを調達でき、ハラレ市など都市部の道路補修が強化される。(24日付ヘラルド紙1面)

(リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/new-asphalt-plant-to-boost-road-infrastructure/>)

#### 5 米ファイザー社と非営利ベースでの医薬品供給に関する協定締結

24日、政府は米ファイザー社 (Pfizer) と「より健康的な世界のためのファイザー協定 (Pfizer Accord for a Healthier World)」への正式署名を行い、特許医薬品やワクチンを非営利ベースで公平に供給することを取り決めた。同協定により、感染症、がん、炎症性疾患分野の特許薬・ワクチンを安定調達でき、医薬流通網の刷新への技術協力も行われる。これにより世界市場の価格変動から医療関係予算を節約しつつ、都市・地方問わず全国民への効率的・公平な医療アクセス拡大を目指す。(25日付ヘラルド紙2面)

(リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/govt-pfizer-sign-landmark-health-equity-accord/>)

#### 6 エジプトがバトカ渓谷水力発電プロジェクトへの投資を検討

エジプトは、ジンバブエ・ザンビア共同のバトカ渓谷水力発電プロジェクト (総額50億米ドル、2400MW規模) への投資を検討している。ラーマン・駐ザンビア・エジプト大使は、タンザニアのジュリウス・ニエレレ水力発電所 (29億米ドル、2115MW) 建設実績を挙げ、大型水力発電所開発の経験をアピールしている。バトカ渓谷はビクトリア・フォールズ下流47kmに位置し、世界遺産への悪影響はないとされる。カリバダム等既存・計画中の発電所と連携し、乾期における柔軟な運用も期待される。(25日付ニューズデイ紙3面)

(リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200051965/egypt-backs-us5bn-batoka-gorge-power-project>)

#### 7 政府がすべての未加工鉱物及びリチウム濃縮物の輸出を一時停止

24日、政府は、すべての未加工鋳物及びリチウム濃縮物の輸出を当面の間停止すると発表した。カンバムラ鋳山・鋳山開発大臣は、今後は有効な鋳業権と認可された加工プラントを保有する事業者のみに輸出許可が与えられ、違反時は許可証や鋳業権の剥奪もあり得ると説明した。同措置により、ジンバブエは未加工鋳石輸出から精製品輸出への転換を目指し、より高価格での輸出による外貨収入増を狙う。(25日付ニューズデイ紙)

(リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200051979/zim-suspends-lithium-raw-mineral-exports-and-pushes-beneficiation>)

#### 8 ZiG 建てインフレ率が 3.8%へ低下

2月11日～17日に行われた物価調査の結果、ZiG 建て年率インフレ率は1月の4.1%から3.8%へ低下した。米ドル建て年率インフレ率も0.9%と低水準を維持した。(27日付ヘラルド紙ビジネス1面)

(リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/zig-annual-inflation-rate-drops-further/>)

#### 9 ジンバブエ中央銀行 (RBZ) が 35%の政策金利を維持

27日、ジンバブエ中央銀行 (RBZ) は、2026年金融政策声明を発表した。主な内容は、銀行手数料上限の引下げ、外国為替市場の透明性と競争力向上、厳格な流動性管理など。政策金利は35%を維持し、引下げは物価安定の定着後に検討する。また、現金流通を促進するため、新紙幣を4月7日以降段階的に発行する。(28日付ヘラルド紙1面)

(リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/rbz-announces-measures-to-boost-zig-price-stability/>)